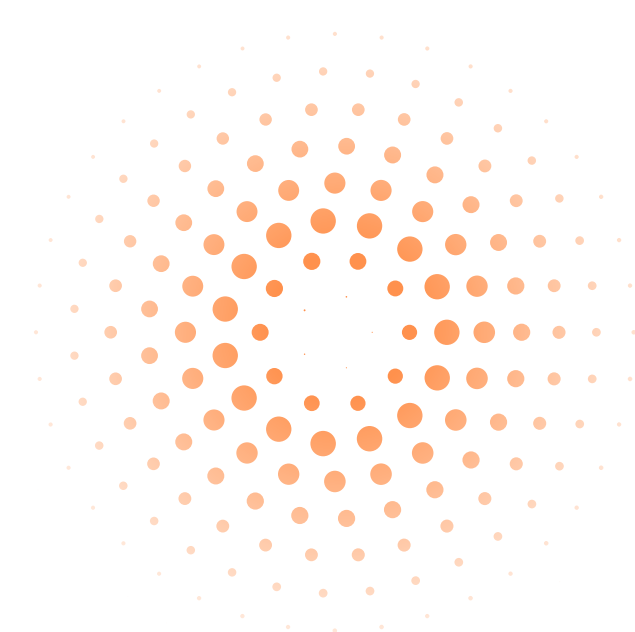


- JOCV hands-on Program



2025年度大学生向け

JICA海外協力隊体験プログラム

(試行)

※後日共有するため、録画させていただきます。
予めご了承ください

目次

- 01 青年海外協力隊事務局より挨拶**
- 02 JICA海外協力隊とは？**
- 03 体験プログラム概要**
- 04 今後のスケジュール**
- 05 2024年度大学生向けJICA海外協力隊体験プログラム**
- 06 質疑応答**



JICA海外協力隊とは？

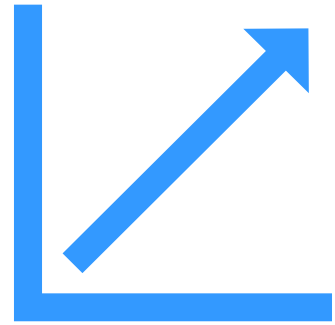


JICA海外協力隊とは？

ODA（政府開発援助）予算により、**JICA**（独立行政法人国際協力機構）が実施する**国民参加型のボランティア事業**

開発途上国からの要請（ニーズ）に基づいて、それに見合った**技術・知識・経験**を持ち、「**開発途上国の人々のために生かしたい**」と**望む方**を募集し、選考、訓練を経て派遣します

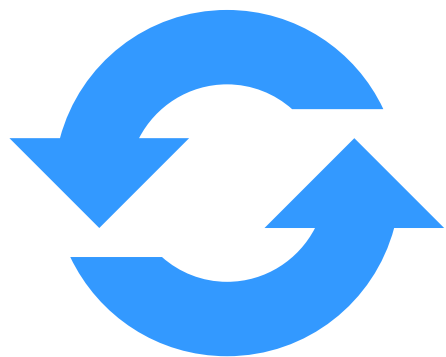
JICA海外協力隊の目的



開発途上国の**経済・社会の発展・復興への寄与**



異文化社会における**相互理解の深化と共生**



ボランティア経験の**社会還元**

JICA海外協力隊の活動

- 対象 自らの意思で参加を希望する**20～69歳の日本国籍を持つ方**
- 派遣先 **開発途上国**や**中南米の日系社会**
- 期間 **2年間**（1年未満の短期派遣もあります）
- 内容 **経済・社会の発展、復興**に向けた協力を
現地の**住民と一体**となって実施する

地域別派遣実績

6地域 **99**か国
(2024年12月31日現在)

欧州 725名

中東 3,766名

アフリカ
16,406名

アジア
16,264名

大洋州 4,919名

中南米
15,190名

【延べ人数】 **57,270**名

分野別派遣実績

9分野 200職種

(2024年12月31日現在)

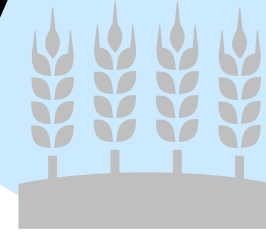
人的資源
24,006名



保健・医療
7,255名



農林水産
6,923名



公共・公益事業
3,739名



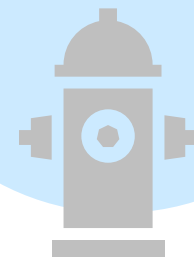
社会福祉
1,729名



商業・観光
1,534名



計画・行政
6,136名



鉱工業
4,680名



エネルギー
102名



9分野 180種以上の職種

計画・行政
国・地域づくりに関わるシゴト
コミュニティ開発
行政・事業マネジメント
交通安全
防災・災害対策
金融
環境行政
統計
コンピュータ技術

商業・観光
マーケティングや観光に関わるシゴト
輸出振興
経営管理
品質管理・生産性向上
マーケティング
観光

社会福祉
福祉に関わるシゴト
ソーシャルワーカー
障害児・者支援
福祉用具
高齢者介護
労働安全衛生

エネルギー
エネルギーに関わるシゴト
ガス・石油・石炭
再生可能・省エネルギー
電力

公共・公益事業
生活・サービスに関わるシゴト
水質検査
上下水道
廃棄物処理
道路
鉄道
海運・航海
港湾
航空
空港
地震
気象
土木
河川・砂防
水資源開発
都市計画
造園
建築
建築設備
測量
映像
電気通信
通信インフラ
放送技術・設備
音響
照明
番組制作

農林水産
食べ物や自然に関わるシゴト
食用作物・稲作栽培
花き栽培
野菜栽培
果樹栽培
バイオテクノロジー
きのこ栽培
病虫害対策
土壌肥料
農業協同組合
農林統計
農業土木
農業機械
農産物加工
家畜飼育・飼料作物
養蜂
獣医・衛生
畜産・乳製品加工
林業・森林保全
林産加工
水産開発
養殖
水産物加工

鉱工業
ものづくりに関わるシゴト
鉱業
化学・応用化学
金属加工
溶接
非破壊検査
動力発電技術
工作機械
冷凍機器・空調
精密機器
電気・電子機器・設備
建設機械
船舶機関
自動車整備
繊維
竹工芸
木工
食品加工
陶磁器
皮革工芸
貴金属装身具製作
包装

人的資源
教育やスポーツなど人を育てるシゴト
青少年活動
環境教育
就職支援
フィジカルアクティビティ
陸上競技
体操競技
新体操
水泳
アーティスティックスイミング
水球
テニス
卓球
バドミントン
バレーボール
バスケットボール
ソフトボール
野球
ハンドボール
サッカー
レスリング
フェンシング
アーチェリー
柔道
空手道
合気道
剣道
相撲
ウエイトリフティング
自転車競技
ラグビー
少林寺拳法

PCインストラクター
視聴覚教育
音楽
美術
珠算
教育行政・学校運営
日本語教育
理科教育
数学教育
技術科教育
体育
小学校教育
幼児教育
機械工学
電子工学
衛生工学
経済学
社会学・文化人類学
ジャーナリズム
科学
考古学
地質学
生態調査
植物学
動物学
司書
学芸員
デザイン
文化財保護
写真
美容師
編集
家政・生活改善

手工芸
料理
服飾
文化

保健・医療
いのちに寄り添うシゴト
医師
歯科医師
歯科衛生士
歯科技工士
看護師
保健師
助産師
臨床検査技師
診療放射線技師
薬剤師
鍼灸マッサージ師
言語聴覚士
作業療法士
理学療法士
医療機器
病院運営管理
栄養士
公衆衛生
感染症・エイズ対策
食品衛生
学校保健
柔道整復師

*職種・要請は追加・変更・取り消しする場合がありますので最新情報はJICA海外協力隊ウェブサイトでご確認ください。

JICA海外協力隊の紹介

1. 「知られざるストーリー」リンク：
<http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/>
2. JICAボランティアの人とシゴト：
<http://www.jica.go.jp/volunteer/people/>
3. 各種映像（YouTube）：
<https://www.youtube.com/user/jicajocvsv/>
4. JICAボランティアの世界日記：
<http://world-diary.jica.go.jp/>
5. 帰国後の進路支援：
http://www.jica.go.jp/volunteer/obog/career_support/index.html
6. サポーター宣言（企業、自治体など）・サポーター一覧・著名人からのメッセージ：
<https://www.jica.go.jp/volunteer/supporter/index.html>
7. 広報番組「いつか世界を変える力になる」（番組視聴）：
<https://www.youtube.com/watch?v=suGI1EF73QI>
8. 動画でわかるJICA海外協力隊：
<https://www.jica.go.jp/volunteer/seminar/web/>
9. My Episode 0：
<https://www.jica.go.jp/volunteer/lp/my-episode-0/index.html>

【SNS QRコード一覧】

Twitter



Instagram



Facebook



YouTube



いつか世界を変える力になる

JICA
海外協力隊

人生なんて
きっかけひとつ。

今の自分をなんか変えてみたい。

せっかくならドキドキすることをしてみたい。

もしそう感じるものがあったら、

一歩踏み出すために

あなたのココロがくれたサインだ。

JICA海外協力隊なら

好奇心を刺激してくれる経験が必ず見つかる。

人生なんてきっかけひとつ。

さあ、新しい自分に会いにいこう。



体験プログラム概要



プログラム概要

- **目的**
 - ①若年層が開発途上国の社会・経済問題について考える機会を提供
 - ②JICA及びJICA海外協力隊の理解を促進
 - ③将来的なJICA海外協力隊の応募者増につなげる
- **時期**
 - 派遣前訓練 2025年12月6日（土）、7日（日）※予定
 - 現地プログラム 2026年2月15日（日）～3月7日（土）（約3週間）※予定
- **派遣国** ガーナ、マラウイ
- **プログラム内容**（「協力隊を育てる会（業務委託）」が実施）
 - ・派遣前訓練（JICA施設で対面での実施）
ボランティアとしての心構え、安全、健康に関する基礎知識、ワークショップ等
 - ・現地プログラム
全日程においてコーディネーターがサポート
現地NGO等での隊員活動体験、隊員活動視察、JICA事業視察
 - ・報告会
派遣前、派遣後の報告会
帰国後の各大学における報告会

プログラム概要

- 対象大学・人数

- ・ 対象大学：北海道大学、福井大学教職大学院、名古屋大学、鳥取大学、島根大学、山口大学、鳴門教育大学、香川大学、高知大学

- ・ 人数：16名（各大学1-2名目安）

- ・ ガーナ、マラウイ（各国8名ずつ派遣予定）※どちらの国に行くかは選考で決定

プログラム概要

- **経費**

- ＜参加者負担＞

- ・ 30万円/人（航空賃など旅費の一部経費負担として）※実費は計40-45万円程度
 - ・ 派遣前訓練参加のための宿泊費の一部（1泊5,000円）、食費
 - ・ 旅券申請及び査証申請に必要な書類等（戸籍抄本、写真等）の取得経費
 - ・ 予防接種（黄熱病予防接種等）にかかる費用
 - ・ 現地での食費等

- ＜JICA負担＞

- ・ 派遣前訓練の宿泊費の一部、派遣前訓練参加のための交通費（JICA規定による）
 - ・ 派遣国渡航にかかる航空賃の一部
 - ・ 国際線出発空港までの国内移動に係る費用（JICA規定による）
 - ・ 査証取得経費
 - ・ JICAが指定する海外旅行傷害保険（国際協力共済会）の加入費
 - ・ 現地での宿泊費、国内移動にかかる経費

プログラム概要

● 応募要件

下記の全ての要件を満たす者

- (1) 日本国籍を有する者
- (2) 応募時に30歳未満で大学・大学院（修士・博士・専門職学位の各課程）に在学中の者
- (3) 英語でコミュニケーションが取れる者（TOEIC500点、英検準2級目安）
- (4) 2025年12月に実施予定の派遣前訓練（2日間）に参加可能な者
- (5) プログラム終了後に大学内での帰国報告会やSNSなどを通じてプログラムの報告、情報発信を積極的に実施できる者
- (6) 体験プログラム参加において健康面での支障が無いこと
- (7) プログラム参加に要する経費を自己負担でき、参加同意書の内容に同意する者



協力隊に興味はあるが一步踏み出せない学生を後押しする。国際系の学部だけではなく幅広く募集

プログラム概要（応募方法及び選考）

● 選考日程

選考	日程
応募書類提出締切	2025年8月29日（金）
書類選考結果発表	2025年9月26日（金）
面接選考の日程調整と面接実施 （Teamsによるオンラインで実施）	2025年10月15日（水）～10月17日（金）
最終合格者（面接選考）結果発表	2025年10月28日（火）
合格者説明会（オンライン）	2025年11月上旬

● 応募書類

- ・ 応募者調書
- ・ 語学力に関する証明書
- ・ JICA海外協力隊体験プログラム参加同意書

※募集要項はJICAの出向者を通じて各大学に共有致します。

～ 語学証明に関するよくある質問～

Q1 証明書がない...

A1 留学経験等、見合う語学力があることを応募書類に記載してください。

Q2 Web画面での提出は？

A2 可能です。ただし、必要情報が同一ページに記載されていること。

今後のスケジュール

2025年

7月 応募開始

8月 応募締切（8月29日（金）を予定）

9月 1次選考（書類選考結果発表は9月26日（金）予定）

10月 2次選考（10月15日（水）～17日（金））

最終合格者結果発表は10月28日（火）予定

11月上旬 合格者に対する説明会

12月 派遣前訓練（12月6日（土）、7日（日）の2日間を予定）

2026年

2月 派遣前報告会（オンライン）

2-3月 現地プログラム実施（2月15日（日）～3月7日（土）を予定）

3月 帰国後報告会（オンライン）

4月 各大学における報告会



過年度 大学生向けJICA海外協力隊体験プログラム

派遣前訓練



過年度 大学生向けJICA海外協力隊体験プログラム

派遣前訓練



過年度 大学生向けJICA海外協力隊体験プログラム

派遣前訓練



過年度 大学生向けJICA海外協力隊体験プログラム

出発日



過年度 大学生向けJICA海外協力隊体験プログラム

現地プログラム

2月15日 (日)	2月16日 (月)	2月17日 (火)	2月18日 (水)	2月19日 (木)	2月20日 (金)	2月21日 (土)
日本出国	現地到着		任国内移動			
日本出発		JICA事務所 オリエンテーション	配属先挨拶	配属先活動	配属先活動	休み
2月22日 (日)	2月23日 (月)	2月24日 (火)	2月25日 (水)	2月26日 (木)	2月27日 (金)	2月28日 (土)
休み	配属先活動	配属先活動	配属先活動	配属先活動	配属先活動	休み
3月1日 (日)	3月2日 (月)	3月3日 (火)	3月4日 (水)	3月5日 (木)	3月6日 (金)	3月7日 (土)
休み	プロジェクト視察	隊員活動視察	報告会準備	事務所報告会	任国出発	日本到着



スタディーツアーではなく協力隊として、参加者が課題解決のために現地でヒアリングを行い活動の内容を決定する。

過年度 大学生向けJICA海外協力隊体験プログラム

現地プログラム



過年度 大学生向けJICA海外協力隊体験プログラム

現地プログラム



過年度 大学生向けJICA海外協力隊体験プログラム

現地プログラム



過年度 大学生向けJICA海外協力隊体験プログラム

報告会





ガーナ全体報告

サムライブルー：はると、きょう、まなか、こは
このこレッド：ゆうた、もち、けい、あいりん

07:46

活動計画(渡航前)

- 「農村部女性のビジネススキル習得による収入の向上」を目標に
昨年の活動のブラッシュアップ・シラバスの再提案
(ビジネススキル・計算スキルの向上について)



プログラム参加者の声



最終報告後



野口研究所

Q 配属先での活動は期待通りでしたか？

私たちが何を伝えたいのかを真剣に読み取ろうとしてくれる姿勢が常に伝わってきてお互いに意見を伝えあいやすい雰囲気があった。また、配属先と話し合いを重ねながら比較的自分たちのやりたいように自由度を持って活動ができた。

Q 次回参加者に向けてメッセージをお願いします。

- ・ 同世代の仲間と協力し合い、短期間で国際協力とは何かを集中的に体験できる、充実したプログラムです！
- ・ もっとこうしとけばという後悔(例えば語学力とか国際協力に関する知識を増やすなど)が帰国してから出てきます。毎日全力でぶつかって、いっぱい失敗して、その地でしか感じられない何かを感じたり、掴み取ってください！

ご清聴ありがとうございました
みなさまのご応募お待ちしております！！

2025年度JICA海外協力隊体験プログラム説明会後の登録フォーム

